

美術科 1年 年間指導計画・評価計画

月	学習単元・内容・ねらい（時数）	評価の観点	評価規準	主な評価方法
4	オリエンテーション（1）			
5	○レタリング【デザイン】 「明朝体とゴシック体で『永』を描く」（7） 【ねらい】生活の中のデザインのよさや美しさ、造形要素、表現方法などに関心をもち、意欲的に美術の基礎的能力を身に付けようとする。全体的なバランスを意識して、美しく表現していく能力を身に付ける。レタリングの知識を学ぶことで、生活の中のデザインの意味を理解する。	関心・意欲・態度	より美しい表現ができるために、練習を行い、丁寧にその技法を身に付けている。	授業観察 作品
		発想・構想	点画の太さや位置のバランスを意識して調整して表現されている。	授業観察 作品
		技能	明朝体とゴシック体の特徴を理解し、カーブや直線などを美しく表現している。	授業観察 作品
		鑑賞	レタリングの各特徴を理解している。	定期考査 レポート
6	○色彩【デザイン】 「絵の具の使い方」「レタリングの着色」（7） 【ねらい】ポスターカラーの使用方法を学び、美しく着色できる技術を身に付ける。溝引きの技法を身に付ける。平塗りの技法を身に付ける。	関心・意欲・態度	枠からはみ出ないように、またムラのないように、丁寧に美しく着色しようとする。	授業観察 作品
		技能	ムラなく美しく着色することができている。同じ太さでまっすぐな線を引くことができる。	授業観察 作品
		鑑賞	正しい道具の使い方を理解している。	定期考査
7	○絵画の見方を学ぶ【鑑賞】 「アルノルフィニ夫妻の肖像」（1） 【ねらい】美術文化や文化遺産等に対する関心を高め、美術を愛好し、心豊かな生活を創造していこうとする。感性や創造力を働かせてよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫、創造力の豊かさなどを感じ取り味わったり、理解や見方を深めたりする。	関心・意欲・態度	「アルノルフィニ夫妻の肖像」について自ら考えを深め、自分なりの考えをもつことができる。	ワークシート
		鑑賞	「アルノルフィニ夫妻の肖像」の歴史的背景や作者について理解し、作品の制作意図等について理解する。	ワークシート 定期考査
		関心・意欲・態度	美術作品に関心をもち、その作品等について調べたものをまとめ、考えを深める。	ワークシート
	○夏休みの宿題【鑑賞】 レポート「気になる作品を調べてみよう」説明（0.5） 【ねらい】美術文化や文化遺産等に対する関心を高め、美術を愛好し、心豊かな生活を創造していこうとする。感性や創造力を働かせてよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫、創造力の豊かさなどを感じ取り味わったり、理解や見方を深めたりする。	関心・意欲・態度	美術作品に関心をもち、その作品等について調べたものをまとめ、考えを深める。	ワークシート
		技能	鑑賞した作品を、丁寧に美しく模写することができている。	ワークシート
		鑑賞	考えたことや感じたことから、作品に対して自分なりの考えをもち、レポートにまとめる。	ワークシート
	○夏休みの宿題【表現】 「ポスター制作」説明（0.5） 【ねらい】視覚伝達を理解し、テーマの伝達のための試行錯誤をする。感性や想像力を働かせて、ポスターデザインをし、美しい作品を制作する。	関心・意欲・態度	テーマを伝えるためのアイデアを深め、丁寧に制作しようとしている。	作品
		発想・構想	テーマを伝えるために、発想豊かにデザインし、的確な色を選択して着色することができている。	作品
		技能	テーマを伝えるための図柄を、わかりやすく美しく表現している。	作品
8	○色彩の学習【デザイン】 「色彩についての学習」（2） 「色相環」（6）	関心・意欲・態度	枠からはみ出ないように、またムラのないように、丁寧に美しく着色しようとする。	授業観察 作品

9	【ねらい】色彩の三要素（彩度・明度・色相）を正しく理解して、表現できる。感覚的に色をとらえ、それを正しく表現できる。	発想・構想	感覚的に色をとらえ、正確に表現している。	授業観察 作品
		技 能	ムラなく美しく着色することができている。	授業観察 作品
		鑑賞	色彩の三要素に関わることを理解している。	定期考査
10 11 12	○平面構成【デザイン】 「絵文字」(10) 【ねらい】前課題で学んだことを生かして表現活動に取り組み、その喜びを味わい美術を愛好してゆこうとする。豊かに発想し構想する基礎的能力を身につけ、形や色彩の構成を工夫し、美しい表現をする。	関心・意欲・態度	発想・構想の能力や基礎的技能を身に付け、丁寧に作品制作ができている。	授業観察 作品
		発想・構想	表現意図をもち、発想豊かに色や模様を選択をし、表現されている。	授業観察 作品
		技 能	道具の使い方を工夫して、モチーフの表現が的確でかつ美しく作品制作できている。	授業観察 作品
		鑑賞	道具の使い方や、構成の方法などを理解して、正しく表現できる知識を学んでいる。	定期考査 レポート
1 2 3	○遠近法と鉛筆デッサン【表現】 「遠近法」(3) 「鉛筆デッサン」(7) 立方体 円柱 【ねらい】遠近法の知識と技術を学ぶことで、表現に厚みを加え、ものの見方を深める。デッサンに対する知識と技術を学ぶことで、表現に厚みを加え、ものの見方を深める。デッサンを学ぶことで、表現に対する意欲を高める。道具の扱いに気を配り、安全に使用することができる。	関心・意欲・態度	面や明度を捉え、丁寧に制作することができる。	授業観察 作品
		発想・構想	明度や面の変化を想像し、その違いを表現している。	授業観察 作品
		技 能	道具をうまく利用し、鉛筆の色や方向の違いで、的確に明度や面の違いを表現している。輪郭線を意識して表現することができている。	授業観察 作品 定期考査
		鑑賞	用具の使用方法を理解し、正しく表現できる知識を学ぶ。遠近法の考え方と、その表現方法を理解することができている。	定期考査 レポート